学校番号	T0308

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新　家庭基礎　生活を科学する　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

出席・授業態度・提出物など、基本的な学習態度を大切にして授業を行っていきます。
みなさんの生活の中で、大切なことを学んでいきます。１回１回の授業を大切に受けてください。

2　学習の到達目標

高齢社会・衣生活・食生活に関する基礎的・基本知識な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活について感心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活に関する基礎的・基本的な技能を身につけている。	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・プリントの感想欄等の記述 ・授業態度	・プリントのワーク欄等の記述 ・定期考査の結果	・実習の技能 ・実習のレポートの記述 ・定期考査の結果	・定期考査の結果 ・映像の鑑賞 ・提出プリントの記述

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	経済生活を営む	・多様化する消費生活の現状と課題を理解する。 ・契約や消費者信用の意味と実態を理解する。 ・家計と社会とのかかわりを考える。	○	○	○	○ ○ ○	a：：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d：現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	・プリントの感想欄等の記述 ・授業態度 ・定期考査の結果 ・提出プリントの記述
1学期	高齢社会を生きる	・高齢者への支援のあり方を考える。	○	○	○	○	a：高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d：高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	・プリントの感想欄等の記述 ・授業態度 ・定期考査の結果 ・提出プリントの記述 ・映像の鑑賞

2学期	衣生活をつくる	・トートバック製作を行う。 ・被服材料について学ぶ。 ・衣生活の計画について理解	○ ○	○	○ ○	○ ○	a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	・プリントの感想欄等の記述 ・授業態度 ・プリントのワーク欄等の記述 ・定期考査の結果 ・実習の技能 ・実習のレポートの記述
2・3学期	食生活をつくる	・献立調理実習を行う（和食・洋食・中華） ・五大栄養素のはたらきと多く含む食品の特徴を学ぶ。 ・食事計画について理解する。	○ ○	○	○ ○	○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	・プリントの感想欄等の記述 ・授業態度 ・プリントのワーク欄等の記述 ・定期考査の結果 ・実習の技能 ・実習のレポートの記述 ・提出プリントの記述

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。